

片や月収3900円、片や30億円の宇宙飛行



オリンピック開会式で一万食用意した弁当の内、四千食を廃棄。日本でも世界各地でも満足に食べることも出来ない人が沢山居るのに。胸が痛みます。

縫製工場で一日十二時間労働で月収三九〇〇円。これで格安の衣料品が生産される。米国の大富豪は外国での事業だからと米国の税の対象外。アマゾン創始者のベゾス氏はあの手この手で節税。所得税ゼロの年も。

得た富でベゾス氏は会社を作り宇宙旅行に。その同乗席が競売に。誰かが三十億円で落札し同乗。別の会社は宇宙飛行を一人二千八百万円で募集。既に六百人が申込み。

米サンダース上院議員のスタッフ、ウォレン・ガンネルズ氏は「看護師より低い税金しか払わず宇宙旅行を競っている」とツイッターで報告している。

本来、事業の利益はその労働者が生み出した物。労働者やその国に還元すべきではありませんか。

宇宙を汚すな

地上から百キロの宇宙では大気は地上の百分の一。その宇宙に観光旅行でロケットの排ガスや、姿勢制御エンジンの排ガスを撒き散らして良いのか？フロンがオゾン層を破壊したような悪さをするのではないか。

利益は国に還元し、宇宙を汚す観光旅行をして良いのだろうか。あなたはどう思われますか？

浦島地蔵

横浜市神奈川区亀住町浦島公園
二〇二一年七月



京浜急行神奈川新町駅の北側に戦前、県立金属工業指導所があった。敗戦後占領軍が接収「神奈川ミルクプラント」とし、乳製品を米軍と家族に供給。

一九八九年に返還され浦島公園が作られた。

横浜には浦島太郎伝説がある。太郎は竜宮から玉手箱と観音像を持ち帰った。故里に帰ると九代後の子孫がおり、両親の墓を見つけ観音堂を建てたとか。

太郎にまつわる宝物は観福寺にあったが寺は一八六四年（慶応四年）焼失。幸い寺宝は、慶運寺、蓮法寺に受け継がれた。観音様は慶運寺に移された。

この地蔵も運ぼうとしたが、どうしても動かないのでこの場所に祀ったと云う。

この地蔵の碑文には寛文三年（一六六三年）とある。

